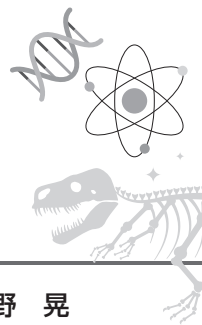




土の中の生き物さがし



個人出展

東京学芸大学附属世田谷中学校（東京都） 河野 晃

●どんな観察なの？

公園などに出かけ、いろいろな生き物を探してみましょう。このブースでは、その中でも土の中の生き物に注目し、観察を行います。自然科学を学ぶには、観る力が大切です。情報や目新しい物に目がいきがちな現在、生の体験や物事をじっくり観る機会が不足しがちです。身近な公園でも、じっくり観れば子どもにとって新しい発見がたくさんあります。こうした“足もと”を見る経験をしっかり積んでこそ、新しい発見が生まれてくることがあるでしょう。

●観察のしかたとコツ

土の中から見つけた4つの生き物、観点・基準で分けられるでしょうか？



図1 ミミズ



図2 アリ



図3 クモ



図4 ダンゴムシ

生き物の分け方には体の大きさや柔らかさ、動き方、人にとって役に立つ・立たないなどがあります。自分が好きか嫌いかな、という分け方もありますね。

科学的に生物を分類するには、体の構造に注目します。中でも大切なのは足の数です。写真の生き物は、足のない仲間（図1）、昆虫の仲間（図2）、クモ・ダニの仲間（図3）、足の多い仲間（図4）を選びました。さらに詳しく分けるには、節の有無や形、色などを使って仲間分けしていきます。このように、まずは自分の手や目、頭を使って意識して“観る”経験を大切にしていきたいと思います。

なお現在は、生物の遺伝子を使って分類していくことも多くなっています。

●気をつけよう

土や生き物などにさわった後は、必ず手を洗いましょう。

●もっとくわしく知るために

- ・青木淳一 著：「だれでもできるやさしい土壌動物のしらべかた」 合同出版 (2005)
- ・杉山恵一 他 著：「自然観察の基礎知識」 信山社サイテック (2001)
- ・日本自然保護協会 編・監修：「野外における危険な生物」 平凡社 (1994)